

周産期医療対策の必要性

- 本県の超低出生体重児(1000g未満)は増加傾向かつ全国水準より高い割合
⇒ハイリスク分娩ニーズの高まり
- 本県唯一の総合周産期センター(県立病院)のMFICUおよびNICUは、約100%の利用率
⇒ハイリスク妊婦等の安定的な受入体制の整備が必要



■今後とも、周産期医療対策の充実強化が必要

福井県の出生数と超低出生体重児(1000g未満)が占める割合の推移

